

福島第一原子力発電所

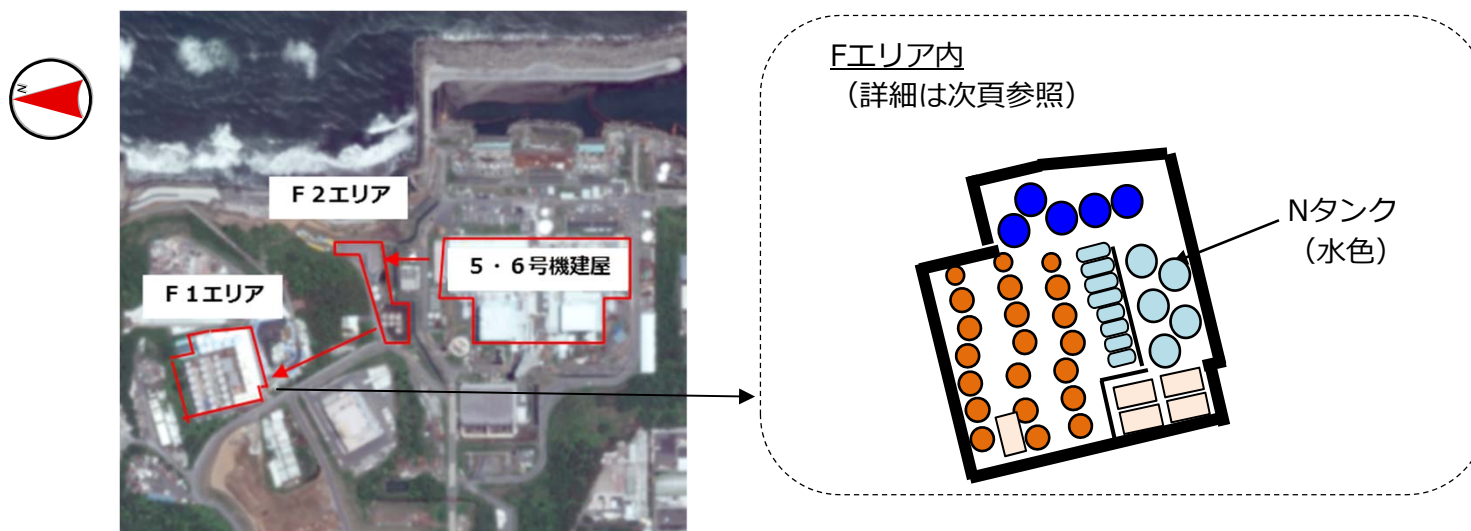
FタンクエリアN 5タンク水位上昇について

< 参 考 資 料 >
2021年11月25日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 本日（11月25日）午後1時17分、5・6号機滞留水浄化装置にて浄化した水をFタンクエリアN 2タンクへ移送中に、同エリアにあるN 5タンクの水位上昇を当社社員が確認したことから、当該設備を停止しました。
- N 2タンクへの移送停止後、N 5タンクの水位を監視していたところ、N 5タンクの水位上昇は、N 2タンクからN 5タンクへ水が流入した可能性があるとして、午後3時に判断しました。
- N 5タンクについては、散水基準を満足していることを確認し、11月22日から順次散水を実施しており、分析していないN 2タンクの水が流入し、分析前の水が散水された可能性があります。
- N 2タンクからN 5タンクへの水の流入に関する原因については、現在確認中です。
- 今後、N 2タンクの分析を実施し、結果が分かり次第お知らせします。
- なお、5・6号機滞留水は、5・6号機の建屋周辺の地下水が建屋内に流入した水をくみ上げたものです。

【構内図（Fタンクエリア）】

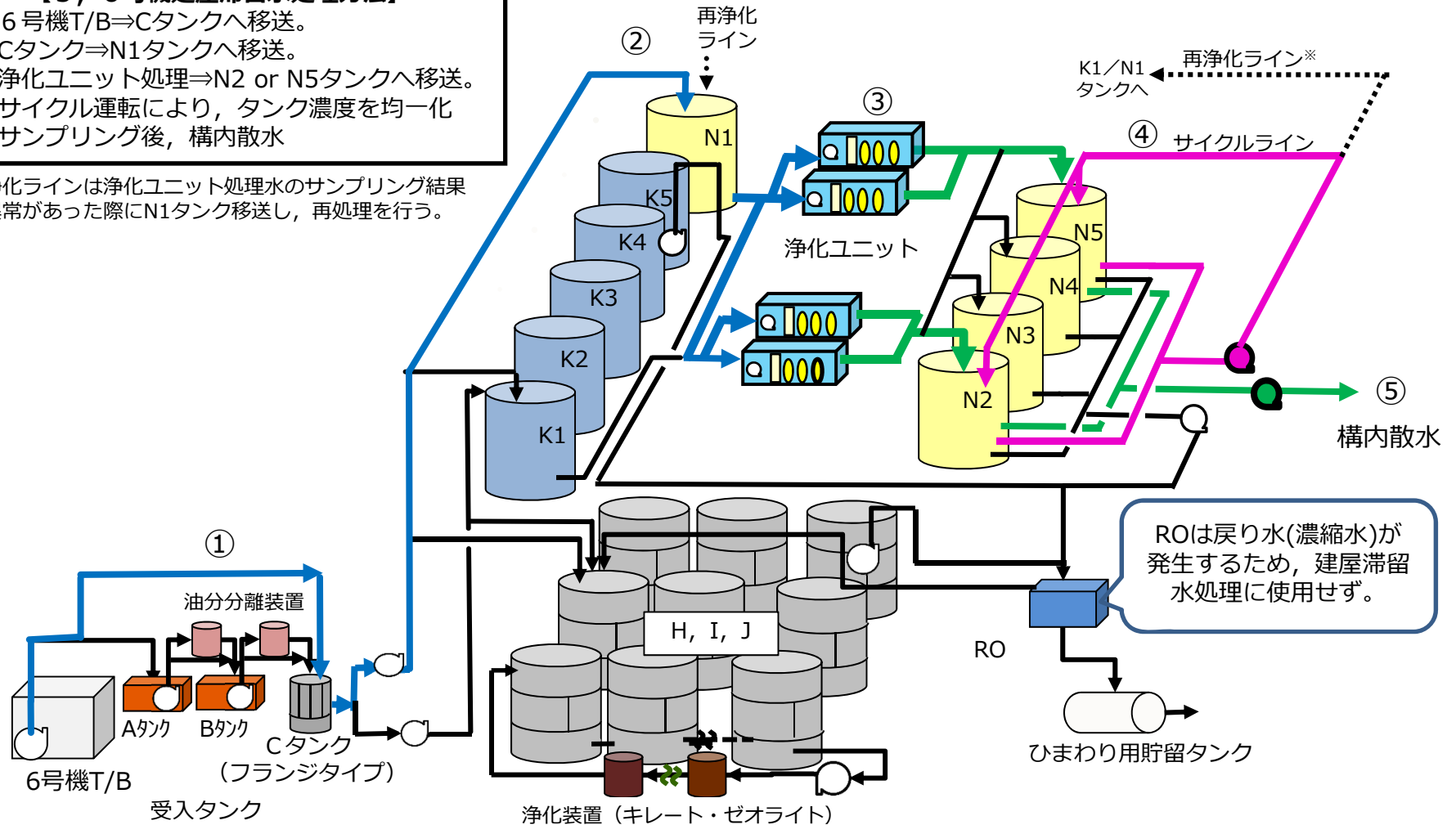


【参考】 5・6号機滞留水処理設備概略図

【5, 6号機建屋滞留水処理方法】

- ① : 6号機T/B⇒Cタンクへ移送。
- ② : Cタンク⇒N1タンクへ移送。
- ③ : 浄化ユニット処理⇒N2 or N5タンクへ移送。
- ④ : サイクル運転により, タンク濃度を均一化
- ⑤ : サンプルング後, 構内散水

※再浄化ラインは浄化ユニット処理水のサンプルング結果に異常があった際にN1タンク移送し, 再処理を行う。



<凡例> — : 滞留水ライン — : 処理水ライン — : 処理水リサイクルライン

ROは戻り水(濃縮水)が発生するため, 建屋滞留水処理に使用せず。

【参考】タンク内水位トレンドグラフ



N 5タンク (青線)

N 2タンク (赤線)

